

ニッセンケンの防透け性試験

JIS L 1923 に対応した試験のご案内です

この度、ニッセンケンでは先般制定された JIS L 1923 に対応すべく、シャツやブラウス、婦人用ボトムなどで望ましいとされる“透けにくさ”を測定する試験を開始しました。

以下、詳細をご案内します。



防透けとは

ブラウスやボトムスからユニフォーム、白衣まで、様々な衣類で、着用時にインナーが透けてしまうのでは、と女性を中心に多くの方が悩まれています。防透け性能とはそのような問題をもとに考えられました。

防透け性試験とは

このような消費者ニーズに対し、具体的に数値をもって色に対する透けにくさを評価する方法が JIS 規格として制定されました。この規格には視感法と計器法の2つがあります。

	試験方法	試験結果※1	試料サイズ	納期
視感法	試験片を白・黒のバックングの上に置き、視感による色の差を評価用グレースケールで等級付けする方法	等級 例：4.0 級	100×100mm × 3	ご依頼を頂いてから中3日 (3泊4日)
計器法	試験片を白・黒のバックングの上に置き、測色計で明度を測定し、比によって防透け指数を算出する方法	防透け指数 例：97.3	50×50mm × 3	

※1 試験結果について 視感法では1～5級 9段階の等級が、計器法では100未満の数値が測定されます。また両法共に数値が大きい程透けにくい判定結果となります。

上記が基本的な防透け性試験の概要ですが、ニッセンケンでは試験条件等を変え、ご依頼者様のご要望に沿った試験も行えます。

その他にも速乾性や遮光性、抗菌性といった需要の高い機能性に対しても、評価試験を行っていますので、ぜひご利用ください。

本件に関してご質問・ご相談等ございましたら、下記へお気軽にお問い合わせください。

本件に関するお問合せ先 — お問合せをお待ちしております。

京都検査所 試験センター TEL：075-661-2301

E-mail：kyoto@nissenken.or.jp 〒601-8467 京都府京都市南区唐橋大宮尻町9